

関係各位

公益財団法人 全日本空手道連盟  
選手強化委員会委員長 香川政夫

「第32回オリンピック競技大会（2020/東京）日本代表選手選考基準」について

初秋の候、日頃、選手の皆様の弛まぬ強化活動に心から敬意と感謝を申し上げます。

さて、いよいよ来年、標記大会が開催されます。

迫りました大会の選考基準を別紙のとおり策定しました。

本基準は、昨年末、本連盟ホームページに公表しました「2019年度ナショナルチーム強化計画」に基づき、2020年1月1日時点で、TOKYO2020スタンディング各階級上位2名の選手を「集中強化指定選手」として選定し、2020年1月から4月6日までは、この2名により大会に参戦、集中強化し、開催地枠として決定するとしたものに加え、2020年の1月からその2名を派遣する参戦計画を示し、第32回オリンピック競技大会（2020/東京）日本代表候補選手として、内定または決定するまでの基準として新たに策定したものです。

日本代表が目標を達成するために、集中強化指定選手として選ばれた2名が計画的に参戦することで、可能な限りベストコンディションで本番を迎えるとした趣旨の本基準を、ご確認、ご理解の上、今後の活動を進めていただきますようよろしくお願いいたします。

選手の皆様には、年内残りの大会にベストを尽くされますことを願い、選ばれた選手には、日本代表としてチームメートの分まで精一杯戦っていただくと共に、残念ながら選外になった選手には、選ばれた選手が、メインポールに日の丸を上げる夢の実現に向けて、最後まで応援をいただきますようよろしくお願いいたします。

選ばれる選手は、限られておりますが、ナショナルチームの一員として世界中に空手道の素晴らしさ、夢や感動、勇気や元気を少しでも与えられるよう、一丸になって取り組みたいと考えていますのでよろしくお願いいたします。

本件についてご質問・問い合わせがありましたら

令和元年10月7日までに下記宛メールにて送信ください。

(公財) 全日本空手道連盟 (林)  
メール jkf@blue.ocn.ne.jp  
電話 03 (5534) 1951

公益財団法人全日本空手道連盟  
「第32回オリンピック競技大会（2020/東京）日本代表選手選考基準」

1. 位置づけ

この選考基準は「ナショナルチーム選考基準」（H29. 12.8 施行）に示す「ナショナルチーム強化計画」に基づく基準である。

2. 目的

第32回オリンピック競技大会（2020/東京）（以下東京2020大会）において最大の目標を達成するため、日本代表選手の選考基準を明確にし、（公財）全日本空手道連盟（以下JKF）会員、関係者が共通理解のもと一丸となって目標に邁進することを目的とする。

3. 選考基準

(1) 2019年度ナショナルチーム強化計画※1に基づき選考する

- ① 2020年1月1日時点で、TOKYO2020スタンディング（以下オリンピックスタンディング）各階級上位2名（国内）の選手を「集中強化指定選手」として選定する。
- ② 2019年9月開催プレミアリーグ東京大会終了後、10月1日時点でオリンピックスタンディングトップ選手（国内1位）と2位選手（国内2位）の点差が2000点（オリンピックスタンディング）以上の場合、10月1日時点でトップ選手を「集中強化指定選手」として選定する。
- ③ 2020年1月1日から日本代表候補選手が開催国枠※2として内定する4月6日の期間に開催されるプレミアリーグ、シリーズAへの参加は、派遣、自費問わず集中強化指定選手のみとする。

(2) 東京2020大会日本代表選手選考過程

- ① 2020年1月1日から4月6日までの集中強化指定選手のプレミアリーグ、シリーズAへの派遣計画を示す。
- ② 集中強化指定選手を下記の大会※3に派遣する。
  - ア. プレミアリーグパリ大会 2020年1月24日～26日
  - イ. プレミアリーグザルツブルグ大会 2020年2月28日～3月1日
  - ウ. プレミアアラバト大会 2020年3月13日～15日※集中強化指定選手のコンディション確保の観点から下記大会には派遣しない
  - エ. シリーズAサンチアゴ大会 2020年1月10日～12日
  - オ. プレミアリーグドバイ大会 2020年2月14日～16日
- ③ 集中強化指定選手が選定され上記派遣大会の結果を待たず、2位の選手が1位の選手をオリンピックスタンディングで上回れないと確認できた下記※の時点で、JKFは、集中強化指定選手の内、1位の選手を日本代表候補選手に内定する。その時点で、2位の選手を日本代表候補補欠選手とする。

※上記②ア・イ・ウの大会で取得可能な獲得ポイントを換算して2位選手が1位選手を上回れないと確認した場合は以下の差が認められた場合をいう。

- ・プレミアリーグパリ大会 2020年1月24日～26日 の後、2,000ポイント以上
- ・プレミアリーグザルツブルグ大会 2020年2月28日～3月1日 の後、1,000ポイント以上

- ④ 選手が内定してからの日本代表候補選手の大会派遣は、選手のコンディションを鑑みながら選手強化委員会で検討、実施する。
- ⑤ 東京2020大会の日本代表候補選手は、世界空手連盟（以下WK F）が定める「第32回オリンピック競技大会 選考過程（QUALIFICATION SYSTEM-GAMES OF THE XXX II OLYMPIAD-TOKYO2020）」に基づき、2020年4月6日時点でのオリンピックスタンディングが最も高い選手に決定されることをもって、正式決定とする。

- ⑥ 選手が日本代表候補選手に内定または、決定してから、同選手が何らかの事象により東京 2020 大会に出場できない事態が生じた場合、日本代表候補補欠選手を内定もしくは、4月6日以降は、決定選手に繰り上げる場合がある。※4
- ⑦ 2020年1月1日時点でオリンピックスタンディング各階級の国内3位、4位を準集中強化指定選手に選定する。但し、準集中強化指定選手の間は、上記②にある大会には派遣しない。
- ⑧ 2020年1月1日以降、集中強化指定選手(2名)に上記⑥にある事象が生じた場合、準集中強化指定選手が、集中強化指定選手に繰り上がる場合がある。この場合、準集中強化指定選手のうち、2020年1月1日時点でオリンピックスタンディング各階級の国内3位の選手が同4位の選手に優先して集中強化指定選手に繰り上がる。

※1 「2019年度ナショナルチーム強化計画」

- ・平成30年10月6日常任理事会承認
- ・平成30年12月8日全日本空手道選手権大会監督会議説明
- ・平成30年12月13日(公財)全日本空手道連盟ホームページ掲載

※2 「開催国枠」…WKFが「第32回オリンピック競技大会 選考過程」に記載(5ページ)

「…2020年4月6日現在のオリンピックスタンディングが最も高い選手に割り当てられる。…」

※3 「大会」…プレミアリーグ・シリーズAの参加資格はWKFの定める条件を満たしていれば参加できるが、JKFとして、2020年1月から4月6日までに開催される同大会の参加対象を、本基準に基づき集中強化指定選手のみとする。

※4 …選手の最終決定は、(公財)全日本空手道連盟が日本代表候補選手を決定した後、JOCに推薦、同委員会の理事会で承認され、最終決定となる。